
中国情報(畜産)

2007年4月11日号

◎2006年における中国の家禽卵市場情勢分析

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2006年における中国の家禽卵市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

2006年の中国の家禽卵生産量は前年に比べ増加し、家禽飼養は前半減少したが後半には増加し、通年では前年レベルを維持した。2006年の鶏卵、レイヤーヒナ価格及びレイヤー飼料価格はともに前年より下落したものの、後半になって価格が反発し始めた。卵製品の輸出入額はともに増加し、引き続き貿易黒字を維持した。

1 家禽卵の生産情勢

多岐に及ぶ様々な影響を受け、2006年上半期における家禽製品価格は低落が続いて収益が低下し、地域によってはレイヤー1羽当たりおよそ1元(約15円: 1元=15.2円(2006年末相場))の損失が生じたところもある。上半期の家禽卵生産量は前年同期比1%増で、増加率は前年より7.5ポイント低下した。下半期は消費の回復に加え、国慶節(10月1日の建国記念日。いわゆる「十一」)及び中秋節(旧暦8月15日)によって消費が促進され、採卵用家禽の飼養農家の収益性は向上した。年間の状況を全体に見ると、2006年の家禽飼養は前半減少したが後半には増加し、通年では前年レベルを維持した。2006年の家禽卵生産量は、前年比2%増と予測されている。

家禽卵は生産地域の集中化がより進展し、主産地である河北省、河南省、山東省、遼寧省、江蘇省及び四川省の6省で、全国の家禽卵総生産量の64%を超えている。

2 家禽製品の貿易情勢～輸入が大幅増加するも、大幅な貿易黒字は維持

2006年の中国の卵製品輸出量は、前年比1.25%減の11.998億個となった。輸出額は同0.87%増の7,574.43万ドル(約91億円)となった。輸入量は同21.33倍の21.46万個、輸入額は同28.98倍の119.08万ドル(約1億円強)となった。貿易黒字は7,455.35万ドル(約

89億円)で、ほぼ前年並みとなった。

このうち、生鮮卵の輸出量は卵産品輸出量合計の78.47%、同輸出額は同じく55.89%を占めた。また、卵加工品(ピータン、塩漬卵)輸出は、卵産品輸出合計に対し、量ベースで21.50%、金額ベースで43.76%を占めた。

(1) 生鮮卵輸出量は増加

2006年の中国の生鮮卵輸出量は前年比2.26%増の9.42億個、輸出額は同2.24%減の4,233.13万ドル(約51億円)となった。主要輸出相手先は香港特別行政区及びマカオ特別行政区で、香港向け輸出額は、生鮮卵輸出額合計の91.24%を占めている。主要輸出省は広東省、湖北省及び山東省であり、輸出額の85.73%を占めている。

(2) 卵加工品は輸出入額とも増加

2006年の中国の卵加工品(ピータン、塩漬卵)輸出量は前年比12.28%減の2.58万個、輸出額は同5.0%増の3,314.92万ドル(約40億円)となった。主要輸出相手先は日本、香港特別行政区及びシンガポールで、その輸出額は卵加工品輸出額合計の70.51%を占めている。また、主要輸出省は広東省、遼寧省、福建省、山東省及び湖北省であった。

一方、卵加工品の輸入は少なく、前年比90.89%増の6.12万ドル(約734万円)にとどまった。主要輸入相手先は米国である。

3 国内都市部住民の卵消費状況

国家統計局の資料によると、2006年1~11月の中国の都市部住民の毎月1人当たり購入量は前年同期比0.49%増の0.93kg、購入額は同6.98%減の5.61元(約85円)となった。うち生鮮卵の毎月1人当たり購入量は同0.42%増の0.87kg、購入額は同7.76%減の5.04元(約77円)となった。同じく卵製品は購入量が同1.59%増の0.06kg、購入額が同0.32%増の0.57元(約68円)となった。2006年の全国都市部住民の年間1人当たりの卵購入額は67.30元(約1,023円)で、1994年に比べ16.19%増となった。生鮮卵の年間1人当たり購入量は10.46kgで、1994年に比べ8.08%増となった。

地域別には、北方地域において卵の購入量が比較的大きい傾向にある。天津市における毎月1人当たりの卵購入量は1.50kgで、全国トップの座にある。購入量の全国平均を超えたのは、遼寧省、安徽省、山東省、河北省、山東省など12省市であった。最低は海南省の0.32kgにとどまった。毎月1人当たり購入量が0.5kgに満たなかった省としては、このほかに貴州省がある。

4 中国の家禽卵市場価格趨勢

(1) 鶏卵価格は前半下落するも後半に回復、通年では前年安

2006年の中国の鶏卵価格は全体的に見て前半に下落し、後半になって回復した。トリインフルエンザほか様々な影響を受け、上半期には鶏卵需要が落ち込み、価格が下落を続けた。2006年1月に比べ、4～6月の鶏卵価格は10%を超えて下落し、年内最低となった。1～7月における1kg当たりの鶏卵価格は、6元（約91円）以下となった。8月以降、鶏卵価格は大幅に上昇し、12月には1kg当たり7.26元（約110円）となり、4月に比べ31.95%高、前年同月比13.26%高で、2004年10月以降の最高価格となった。ただし、上半期の鶏卵価格が低迷したため、2006年の通年の鶏卵平均価格は、前年比6.72%安の6.24元（約95円）となった。

鶏卵主産省（山東省、河北省、河南省、江蘇省、遼寧省、安徽省、四川省及び湖北省）における2006年の鶏卵平均価格は、前年比7.85%安の1kg当たり5.74元（約87円）となった。第4四半期の鶏卵平均価格は同6.54元（約99円）で、前年同期比10.68%高、第3四半期比10.54%高となった。

一方、鶏卵の主要消費地（北京市、天津市、上海市、福建省及び広東省）における鶏卵平均価格は、前年比5.73%安の1kg当たり5.98元（約91円）となった。第4四半期は同6.80元（約103円）で、前年同期比11.87%高、第3四半期比7.98%高となった。

(2) レイヤーヒナ価格は前年安、主産地価格の下げ幅は全国平均より小

レイヤーヒナ価格は鶏卵価格と似た動きをしており、前半は下落、後半になって回復し、6月に最低価格を示した後、12月に最高価格を記録した。上半期の価格が相対的に低かったこともあり、2006年のレイヤーヒナ価格は前年比7.74%安の1羽当たり2.05元（約31円）となった。そのうち、主産地である山東省、河北省、河南省、江蘇省、遼寧省、安徽省、四川省及び湖北省の平均価格は、同2.28%安の1羽当たり2.00元（約30円）となった。また、第4四半期の平均価格は同2.29元（約35円）で、前年同期比24.38%高、第3四半期比12.74%高となった。

(3) レイヤー配合飼料価格はやや前年安も、後半には上昇

2006年の全国のレイヤー配合飼料の平均価格は、前年比2.28%安の1kg当たり1.89元（約29円）となった。第4四半期の平均価格は同1.92元（約29円）で、前年同期比0.87%高、第3四半期比1.41%高となった。

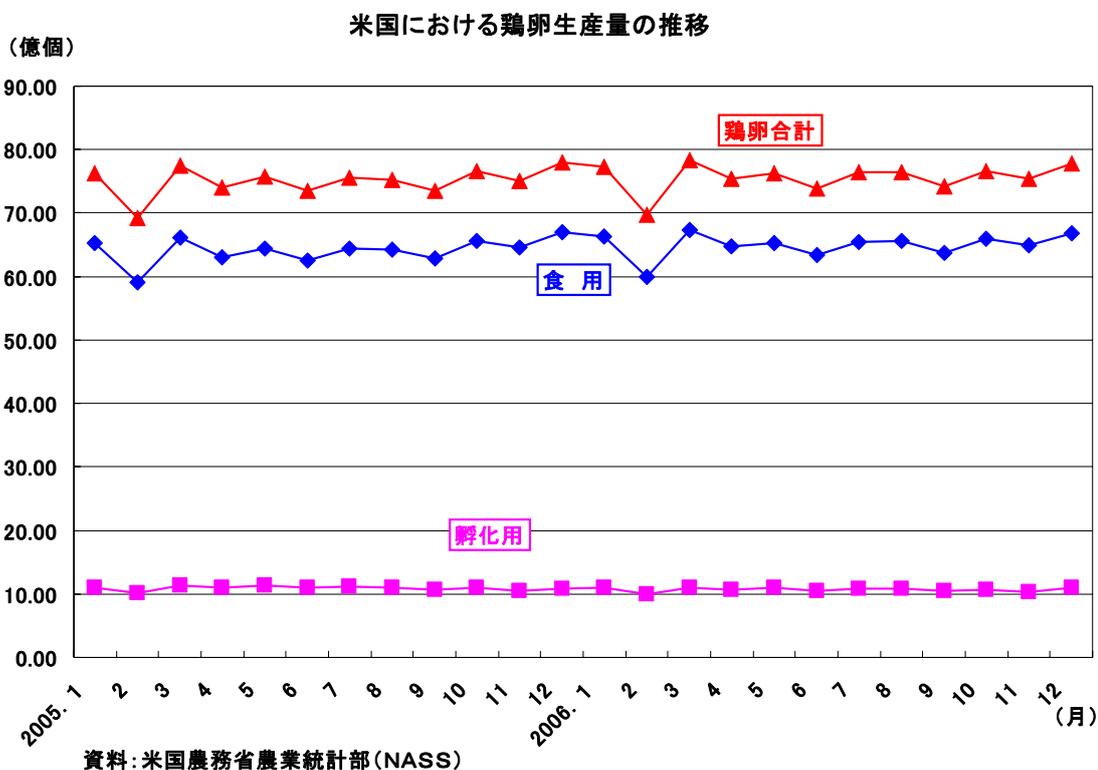
主産地（山東省、河北省、河南省、江蘇省、遼寧省、安徽省、四川省及び湖北省）におけるレイヤー配合飼料の平均価格は、前年比1.39%安の1kg当たり1.75元（約27円）となった。山東省と遼寧省の平均価格が前年に比べ若干上昇したのを除き、その他の省では軒並み下落した。第4四半期における平均価格は1kg当たり1.78元（約27円）で、前年同期比1.57%高、第3四半期比1.83%高となった。

5 国際市場における鶏卵情勢

(1) 生産及び貿易

2006年の米国の鶏卵生産量は前年比0.81%増の907.58億個となり、そのうち85.87%が食用向けとなった。レイヤーの総飼養羽数は前年に比べ若干増加し、41.47億羽となった。12月の鶏卵生産量は前年同月よりも若干減少し、77.77億個となった。採卵鶏羽数は前年より若干減となり、3.48億羽であった。

同年1～11月の米国からの殻付き卵の輸出量は、前年同期比若干増の9,911ダースとなった。主要輸出相手先はカナダ及び香港特別行政区で、それぞれ米国産殻付き卵輸出货量合計の27.302%及び19.73%を占め、前年同期比ではそれぞれ19.82%減、5.57%減となった。



(2) 価格趨勢

ア 米国の鶏卵価格は前年高

2006年の12都市（ボストン、シカゴ、シンシナティー、クリーブランド、デンバー、デトロイト、ロサンゼルス、ニューヨーク、フィラデルフィア、ピッツバーグ、セントルイス及びサンフランシスコ）における鶏卵平均価格は、前年比14.36%高の1ポ

ンド当たり63.55セント（約76円）となった。また、ニューヨークの鶏卵平均価格は同10.71%高の1ポンド当たり72.38セント（約87円）となった。第4四半期の12都市における鶏卵平均価格は同80.33セント（約96円）で、前年同期比21.88%、第3四半期比42.98%となった。

イ カナダの鶏卵価格は安定的かつ前年高

2006年のカナダの鶏卵平均価格は比較的安定して推移し、最低価格と最高価格の差は各級とも0.02ドル（約2円）にとどまった。前年と比較し、各級の鶏卵価格はいずれも前年同期に比べ上昇しており、そのうちA級特大の上昇率が前年比1.94%高と最大であるものの、他の各級における価格上昇率も、すべて1%を超えている。

